

元氣アップみのり

2014年(平成26年)

たなぼた号

発行 NPO 法人元氣アップみのり
 住所 〒678-0052 兵庫県相生市大島町 3-4
 電話 0791-22-1330 Fax 0791-22-1347

待ち遠しい
 梅雨明け!

関東では異常気象が見られますが、幸い相生では平年並みといったところでしょいか。でもやっぱり梅雨は早く明けてほしいですね。



これ、何だ？
 カエルの親子です。
 押し花研修で作りました。

平成26年度 元氣アップみのり 通常総会を開催！

6月13日(金) 於、相生市総合福祉会館301号

総会では、①平成25年度事業報告、②同会計及び監査報告、③平成26年度役員を選任、④同事業計画案、⑤同予算案、⑥議事録署名人選出、の六つの議案が提出され、討議の末いずれも承認されました。

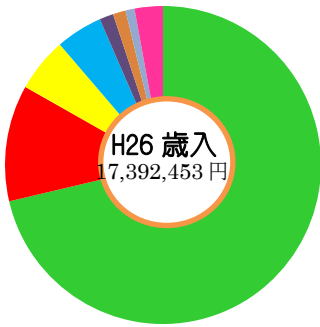
去年は私たちの作業所が、就労継続支援B型事業所になって最初の年でした。へ地活の時は年60日以上出勤した通所者の在籍数に応じて補助金が支払われましたが、

〈就B〉になると、補助金が2ヶ月遅れの入金となるうえ、毎月の通所日数に依るの支払いとなるため、想定外の入院者が出た月は収入が大きく落ち込みましたが、それでもやり繰りに苦労しながら何とか収支を合わせる事ができました。

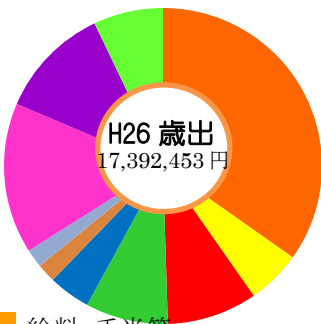
また〈就B〉になって新たに必要となっ

た利用契約書や重要事項説明書、サービス等利用計画にもとづく個別支援計画づくりも、当初の遅れをのりこえ全員の作成をやり遂げることができました。その他、通所者の工賃向上や製菓の拡販、給食サービスの実施、家族会での中西播磨精神保健福祉研修会の成功など、新たな成果もありました。

こうした初年度の経験をふまえて今年度の事業計画及び予算案を作成しました。総会での質疑で出ましたが、精神障害者を「入院中心から地域移行へ」という厚労省の取り組みが進められている中で、精神障害者の多い私たち作業所の使命はいっそう重いものがあります。そこを心して取り組んでいく所存です。



- 国保連訓練等給付金
- 公益財団助成金
- 製菓事業収益
- 受託事業収益
- 利用者負担金
- リサイクル事業その他
- 受取会費・寄附金
- 借入金収入



- 給料・手当等
- 社会保険・福利厚生費
- 利用者工賃
- 家賃及びリース料等
- 研修講師謝礼等
- 固定資産取得費
- その他の諸経費
- 収支差額

双葉中から男子生徒3人が トライやるウィークに挑戦!

6月2日から6日まで「トライやるウィーク」ということで双葉中学校から元気な男の子が3人やって来ました。

早速、現場の作業に入ってもらい、菓子の袋詰めから、運搬の助手、アルミ缶・古紙の回収、福祉会館でのパン販売まで、作業所で行っているすべての仕事を体験してもらいました。朝のラジオ体操も、給食の日のお昼ご飯もメンバーさんたちとずっと一緒にしたのでいろいろな交流を図ることもできました。

たぶん中学生にはキツかったろうと思いますが、3人とも1日も休まず頑張りました。ここでの体験が今後の勉強にも役立つようなら幸いです。



特別寄稿

川端康成「掌の小説」論

掌と書いて「てのひら」と読むそうです。(僕は「たなこころ」と読んだ方が風情があつてよいと思うのですが)まさに手のひらに乗るようなと例えられた超短い掌編がいくつも掲載された小説集です。なんと百編以上収録されています。どれも傑作で非常に興味深い物語ですが、今回あえて内容は紹介しません。僕は読者の楽しみを奪つようなことはしませんから「安心を」笑)。ただ、ちょっと書いておきたいことはあります。俗に「奇妙な味」と呼ばれるジャンルの小説があります。探偵作家の甲賀三郎が名付けた、推理にもSFにも怪奇にも属さない、「変格」と呼ばれた小説が進化してできた不思議な物語です。オチがなかったり、トリックが明かされぬまま終わってしまったりもします。奇妙な雰囲気を楽しむための小説です。僕は阿刀田高やサキの短編集をよくよんでいました。それらの小説と「掌の小説」とは内容はまるで違

いますが、一部の短編には「奇妙な味」の気が濃厚です。他の短編も短編であるがゆえにいくつでも深読みが可能です。月並みな感動や驚きではなく、まさに「奇妙」な余韻が残っているのです。伊豆の踊子や「雪国」しか読んでいない方だけでなく、川端康成を敬遠しているSFやミステリーのファンにもぜひ読んで欲しい短編集です。(この短編集は決してSFやミステリーではありません。僕は読後感のことを言っているのです。)一編がとも短いので、時間が空いた時にいつでもどこからでも読めます。康成の才能がこれでもかといつへらい凝縮されています。これを読んで、もっと深く川端康成の小説を知りたい、と思われた方には「丹腕」や「眠れる美女」といった作品がおすすめです。ノーベル文学賞を受賞された偉大な作家とは思えないくらい「変格的」な小説ですから(笑)。

山下 真

「みのり赤穂」に 行って来ました!

私たち元気アップみのりとみのり赤穂とは姉妹のような仲ですが、メンバーさんたちは意外と知らないのが先日(6/24)伊勢製菓さんのお仕事がヒマなのをいいことに9人で見学に押しかけました。急な訪問にもかかわらず、溝端施設長さんから親切に案内していただき、製菓やエアコンの部品分解等の現場を見せてもらいました。相生とはちがった作業に、みんな興味深そうに見入っていました。

後編集 記



「特別寄稿」について…寄稿者の山下君はメンバーの中では無類の読書家、また博覧強記の雑学王でもあります。4月から始めた「あのね帳」にはいつも細かい字がびっしりです。そこで何か『会報』に書かないかと誘ったところ、上のような一文を寄せてくれました。なんで『会報』に川端康成が(!)と唐突に思われたかも知れませんが、ぜひご一読あれ。

家族会5月例会でD VDを鑑賞!

5月17日(土)、13:30 から三木会長の自宅で7人が集まってDVD鑑賞会を開きました。鑑賞したのはNHKから刊行されている「統合失調症の人の回復力を高める家族のコミュニケーション」第2巻『ドラマで学ぶ回復力を高める会話』です。観てから皆で懇談しました。

6月は総会の都合で休みでしたが、次回は7月19日(土)の予定です。